

目次	平成25年度 第3回評議員会 ……………	1頁	デンタルミーティング IN かながわ ……	3頁
	第1回 幹事・DM会 ……………	2頁	「一灯」 ……………	4頁

平成26年度 予算と事業計画が承認

平成25年度 第3回評議員会

平成26年3月6日（木）午後6時より、神奈川県歯科医師連盟平成25年度第3回評議員会が歯科医師会館地階「大会議室」にて行われた。

会議に先立ち、島村大参議院議員が国政報告を行った。今後の社会保障制度について、2025年には国民皆保険制度の堅持が危うくなると言われているため、今年4月の消費税アップ、プログラム法案の整備等動いているが、歯科界の動きは先の事ととらえずに今から動くべきと説いた。医療経済実態調査の回答率が半分程であり、レセプト枚数が300件/月の診療所が対称のため順調な歯科医院の回答が多く、調査結果がプラスに出てしまいがち。実態を正確に出すための調査をしてほしいと伝えた。と説明し、診療報酬改定、医療提供体制改革のための基金の創設、医療法改正の三本柱で政府は医療界の改革を行っている。政府から言われることを受け身じゃなく、こうすべき事が国民のためになるということを歯科界から出していくことが必要であると述べた。

その後、かながわ自民党8020議連の磯本桂太郎県議、小川久仁子県議より、日頃の県議に対してのご理解に、お礼を述べ、今後も歯科医師会の為にご協力をしていきたいと挨拶された。点呼により定数76名のところ出席評議員72名であり、評議員会の成立が確認された。

高橋副会長の開会の挨拶のあと、議事録署名人には山本一臣君（保土ヶ谷）、山田剛久君（茅ヶ崎）が選定された。

富田会長の挨拶では、「904億円の基金の使い道としては県庁、県歯、連盟で密に話し合いを

する準備をしている。3年前に立ち上げた歯及び口腔の健康づくり推進条例をベースに神奈川県独自の歯科医療保健にかかわる継続的な事業を展開していきたい。デンタルミーティングで話された企業検診の義務化について、検診医は歯科医師会会員より選ばれるようなシステムにしていかなければならない。」と話した。次に県歯より加藤木副会長が挨拶した。県歯でも未入会対策が喫緊である。また、県歯は行政に対して、連盟は議員（立法）に対して交渉する立場、力を合わせて歯科医療の充実を図りたいと話した。

報告として、小泉常務理事が庶務及び事業報告を、檀上常務理事が組織対策委員会報告を行った。宮坂常務理事が、情報調査委員会を立ち上げたことの報告と、政策の政党依存型から診療現場発信型へ転換していくにあたり、政策を吟味するための情報を調査する委員会であると説明した。

議事に移り、第1号議案 神奈川県歯科医師連盟規約及び会計規則の改正(案)に関する件、第2号議案 神奈川県歯科医師連盟平成26年度事業計画(案)に関する件について鶴岡理事長が説明し、それぞれ賛成多数で可決承認された。第3号議案 神奈川県歯科医師連盟平成26年度会費賦課並びに収納方法に関する件、第4号議案 神奈川県歯科医師連盟一般会計平成26年度収入支出予算(案)に関する件について檀上常務理事の説明で一括上程され、それぞれ賛成多数で可決承認された。

最後に森副会長が閉会の辞を述べ閉会した。

社会保障制度基金について

～平成25年度 第1回 幹事・DM合同会議～



挨拶する富田会長

平成26年2月13日（木）午後4時30分より歯科医師会館地階「大会議室」にて、当日行われる『デンタルミーティング in かながわ』に先立ち、『幹事・DM合同会議』が行われた。

鶴岡理事長が司会を務め、高橋副会長の開会の挨拶により開会された。

富田会長の挨拶では、来年度の事業についてこの先2年半の間に国政選挙はないということ、連盟の組織力アップに努めたいと話した。また企業健診に歯科検診を含めてもらえるよう努力したいと話した。

続いて檀上常務理事の報告では、組織対策の経過報告、未入会者のアンケートについて話しを行った。

協議に入り、未入会対策について徳永副会長が説明し、数名の幹事・DMより地域の事情等について話し、宮坂常務理事よりの報告では、社会保障制度改革の基金についての説明をした。

続いて、島村大参議院議員が登壇し、国政報告を行った。参議院厚生労働委員会に自身を含め歯科医師が2名入れたこと、地域包括ケアに

ついて、また診療報酬改正が反映されなかった理由と、それに伴い社会保障制度改革基金（注）について説明した。また、私見として歯科医師会等で介護施設を所有しそこで中心となり活動していくことも一つの考えではないかと述べた。診療報酬改定には医療経済実態調査が反映され、調査結果がプラスの状態だと財務省がマイナス改定を打ち出してくる。実態がそのまま調査結果に出るように正直に書いてほしい。また保険者側は、健康になることには点数を付けてくるが、ただ単に点数を上げるでは抵抗勢力となるので考えてほしい。

改革基金については県単位なので、県歯・県歯連盟が神奈川県とどのように折衝していくかで歯科に回る基金の額が変わるので積極的に取りに行く行動力が必要と説明した。

また、国や県、市でも言われるようになった健康寿命というキーワードに対して歯科がどこまでかわれるか、また、県議会が始まるときに歯科はこれをやるからこれだけ予算が必要であると主張していくことも必要であると述べ、国会報告を締めくくった。



国政報告をする島村大議員

(注) 社会保障制度改革基金とは26年4月からの診療報酬改正が消費税と重なった為、診療報酬改定は抑えられた代わりに社会保障制度改革基金を作り、全国医療関係に対し国民の為になる事業に関して904億円の基金を県単位で配るとしたものの。都道府県に対し平等に提出するものではなく、事業の内容が濃いところには多めに配るとしている。

歯科検診の義務化を提言 デンタルミーティング IN かながわ



講演する赤塚俊昭氏

平成26年2月13日(木)
午後6時より歯科医師会館地階「大会議室」にてデンタルミーティングINかながわ が開催された。北野副理事長が司会を務め、高橋副会長の開会の挨拶により開会された。

冒頭、中山展宏衆議院議員が駆けつけてくださり挨拶を頂戴した。富田会長は挨拶で、厚労省に働きかけて企業検診に対して歯科検診を制度化していきたいと述べた。高橋県歯会長は、歯科医師会は歯科医師個人ではできない歯科保健の推進、歯科医療の充実を組織として行政、関連団体に交渉、提言する機関。それを支援し主体となって具現するのが連盟であると話した。

時局基調講演では、デンソー健保組合常勤顧問の赤塚俊昭氏を演者に迎え、「何が疾病重症化を防ぐか? ～定期的歯科検診から見えてくるもの～」と題し講演をしていただいた。

デンソー健保の保険者としての基本的なあり方として、①加入者のQOLの向上 ②セーフティネットとしての給付の充実 ③財政の健全化を挙げ、長期的ビジョンとして①健康増進と予防に努め、早期発見と重症化の防止を図る ②保険事業の費用対効果を検証し、常に改善 ③検証はデータとエビデンスに基づくと説明した。デンソーにおける歯科医療費の割合は全医療費の16%で、科目別では第1位とのことである。リーマンショック以降の減資により歯科検診を削ってよいものかレセプトデータをもとに検証したところ、歯科検診を行っていない会社よりも、しっかり行っている会社のほうが医療費の削減につながっていることが分かったという。

デンタルミーティングでは、宮坂常務理事から資料説明があり、島村大参議院議員が座長を務めた。まず河野太郎衆議院議員からの発言で、

国会版の社会保障制度改革の国民会議を主催していると述べた。石井みどり参議院議員は、保険局医療課と通知の部分で折衝していると報告した。大久保日歯会長は、8020は単なる言い伝え?というところを科学にしていけるデータについて述べ、集団検診は意味がない?ということに対して、視診によって疾患を見つけることが可能な歯科検診は極めて重要であると述べた。また、終末期の歯科医療についてのエピソードを紹介し、生活の医療を強調した。

赤塚氏の説明では、検診のデータは企業が保有しているが、レセプトは健保組合でしか参照できない。検診とレセプトのデータを突合して分析できるのは健保組合しかない。

河野議員は、国保のデータを見ていると中身まで分析して活用している自治体は少ないので、役所と議会に働きかけて医療費の削減につながることを訴えていくことが必要と話した。

企業検診に歯科検診を義務化すべきかどうかについて、赤塚氏は歯科検診の結果をデータとして残して、確立していくことが大事で、義務化は必要である、と答えた。

高木日歯連盟会長は、検診データからエビデンスが出来ればライフステージを通して歯科検診の義務化ができるのではと話した。最後に森副会長の閉会の辞をもって閉会した。



(左より)島村議員、砂川日歯連盟副理事長、高木日歯連盟会長、峰日歯連盟理事長、大久保日歯会長、高橋日歯連盟副会長、石井議員

《当講演をホームページに配信中》



4月14日のニュースによると安倍政権の支持率は51%であり、それに引き換え野党の支持率は一桁台が多い。これは良いことなのか？ いま少し野党も国民の後押しを得られるように頑張りたいものである。

さて、昨年12月自民党内に持続可能な社会保障制度、国民が地域でのつながりを持って健康寿命を全うするというを目的に「ヘルス&コミュニティー議員連盟」が設立された。島村大先生からの報告によると提言書ができあがり、4月14日から各大臣、菅義偉官房長官の元に届けられるとのこと。基本理念は“年齢に関わりなく健康な生活を送るた

め、社会保障を必要ときに受けられるよう改革を進めていく。国民が自らの健康を自らが作るという意識を持ち、努力する。互いに励まし合えるコミュニティーを作る。現行の社会保障制度の枠にとどまらない超高齢化社会における課題解決のため5つの提言が示されている。提言3には「民間活用」があり、公的保険外の健康・予防産業の育成と書かれている。ここが継続可能な社会保障制度とするために力を入れる部分かもしれない。島村先生はメンバーとして本議員連盟の事務局長中川俊直議員に1. 認知症予防及び「噛んで食べる」歯・口の健康管理の重要性、2. 薬剤師や管理栄養士等による専門的支援・アドバイス という部分に「歯科衛生士」を加筆して欲しい旨の意見書を送られている。参議院議員として島村先生の活躍を心強く思う。

文責 富田 篤

島 村 議員 参議院厚生労働委員会にて質問

3月17日、石井みどり議員が委員長を務める厚生労働委員会にて、島村大参議院議員、西村まさみ参議院議員が以下の質問を行った。

島村大 厚生労働委員会質問要旨

- 1、四月から消費税を上げるタイミングで保険料や窓口負担増の改定は、経済に悪影響を起すのではないかと。いかがお考えか？
- 2、医療機関の経営に関し、医療経済実態調査では経営が改善し、診療報酬本体の引上げは不要ではないかと思われている。いかがお考えか？
- 3、薬価は市場実勢価格に合わせるものであり、薬価と診療報酬本体とは無関係ではないか。いかがお考えか？

西村まさみ 厚生労働委員会質問要旨

- 1、メタルフリー化を中心とした新歯科医療技術の保健制度化を。
- 2、現状に即してない文章提供要件について今後の対応。
- 3、日常の歯科診療における口腔がん早期発見について。
- 4、年齢的切れ目のない歯科検診の実施について。
- 5、その他。

島村大議員の早朝勉強会開催

3月20日の早朝8時からラポール・麴町にて、第1回 島村大早朝勉強会が開催され、総勢250名以上を集め、神奈川県からも、多くの会員が出席した。当初は菅官房長官の予定だったが、公務で来れなくなり、代わりに高市早苗政調会長が、法案が決まるまでの解説を行った。



……お知らせ……

平成26年度 第1回神奈川県
歯科医師連盟評議員会
日時：平成26年6月19日(木)
午後6時より
場所：神奈川県歯科医師会館
地階「大会議室」